



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年7月30日

上場会社名 クラシル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 299A URL <https://kurashiru.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀江 裕介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 戸田 翔太 (TEL) 03(6420)3878
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	4,767	—	905	—	910	—	604	—
2026年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 608百万円(—%) 2026年3月期第1四半期 一百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	14.13	13.52
2026年3月期第1四半期	—	—

	Non-GAAP 営業利益		Non-GAAP 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	940	—	638	—
2026年3月期第1四半期	—	—	—	—

	1株当たり Non-GAAP 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり Non-GAAP 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	14.93	14.29
2026年3月期第1四半期	—	—

(注) 当社は、2026年3月期第1四半期については連結財務諸表を作成していないため、2026年3月期第1四半期の数値及び2027年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	17,142	13,893	81.0
2026年3月期	16,919	13,246	78.3

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 13,887百万円 2026年3月期 13,239百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円 21,368	% 25.7	百万円 3,573	% 3.2	百万円 3,584	% 2.2	百万円 2,468	% 0.3	円 銭 57.93
			Non-GAAP 営業利益				Non-GAAP 当期純利益		1株当たり Non-GAAP 当期純利益
通期			百万円 3,716	% 2.6			百万円 2,606	% △0.2	円 銭 61.15

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	42,882,260株	2026年3月期	42,618,560株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	一株	2026年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	42,766,605株	2026年3月期1Q	41,381,869株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、リスクや不確定な要素等の要因が含まれており、実際の成果や業績等は記載の見通しとは異なる可能性があります。なお、業績予想の前提条件及びその他に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（Non-GAAP利益について）

「Non-GAAP営業利益」は、財務会計上の数値（GAAP、日本基準）から特定の調整項目を一定のルールに基づいて調整したものであり、当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しております。具体的には、営業利益に企業買収に伴い生じた無形資産に関わる償却費及びのれん償却費を加算しております。また、「Non-GAAP四半期純利益」は、当期（四半期）純利益から加算した償却費に対応する税金調整額を調整しております。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

当社は、2026年7月30日（木）に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会の資料は決算発表後、また、動画配信、質疑応答等については、開催後速やかに当社ウェブサイトで掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「BE THE SUN（世界に明るく大きなインパクトを与える存在になる）」を企業としてのビジョンに掲げ、広く人々の支えになるサービスを生み出す会社になることで、そのビジョンを実現していきたいと考えております。

そのような考えのもと、料理などのライフスタイルコンテンツを提供する「メディア」、小売企業や食品飲料メーカー等に対して販売促進や集客に関する課題を解決する「購買」、主にクリエイターのマネジメントサービスを提供する「LIVEwith」（ライブウィズ）などからなる「その他」といった事業を展開しております。

当第1四半期連結累計期間においては、パートナーである小売企業や食品・飲料メーカー等のクライアント企業の開拓が進んだことに加え、レシチャレ参加ユーザーが増加したことなどにより、購買事業の売上高を大きく成長させることができました。この結果、全体の売上高に占める購買事業の売上高構成比は35.5%まで上昇しております。引き続き、広告収益から成果報酬型収益への転換を進めてまいります。

Non-GAAP営業利益（注）におきましては、購買事業を中心とした売上高の増加により、前年同期比18.5%増となりました。一方、Non-GAAP営業利益率は、レシチャレへのデジタル広告及び販促費の投資などを積極的に実施したことにより、前年同期の20.8%から19.7%へと低下しております。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,767百万円、Non-GAAP営業利益は940百万円、経常利益は910百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は604百万円となりました。

なお、前第1四半期累計期間は連結財務諸表を作成していないため、前期比較は前第1四半期累計期間と当第1四半期連結累計期間との比較をしております。

(第1四半期累計期間事業別売上高・業績概要)

	前第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)		
		金額 (百万円)	金額 (百万円)	前期増減金額 (百万円)
売上高	3,808	4,767	959	+25.2
メディア	1,888	2,218	330	+17.5
購買	1,274	1,693	419	+32.9
その他	646	855	209	+32.4
売上総利益	1,821	2,310	488	+26.8
売上総利益率	47.8%	48.5%	—	—
Non-GAAP営業利益	794	940	146	+18.5
Non-GAAP営業利益率	20.8%	19.7%	—	—

なお、当社グループは、プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(注) Non-GAAP営業利益は、財務会計上の数値（GAAP、日本基準）から特定の調整項目を一定のルールに基づいて調整したものであり、当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しておりますが、財務会計上の数値ではなく、監査法人等による監査・レビューを受けた数値ではありません。具体的には、営業利益に企業買収に伴い生じた無形資産に関わる償却費及びのれん償却費を加算しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は14,403百万円となり、前連結会計年度末に比べ、32百万円増加いたしました。これは主に、流動資産に属する各項目のうちコマーシャル・ペーパーの満期等により有価証券が993百万円減少した一方で、現金及び預金が862百万円、前払費用が136百万円、売掛金及び契約資産が36百万円増加したことによるものであります。

固定資産は2,738百万円となり、前連結会計年度末に比べ189百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が233百万円増加した一方で、のれんが償却により35百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は3,249百万円となり、前連結会計年度末に比べ、424百万円減少いたしました。これは主にユーザー還元引当金が121百万円増加した一方で、法人税等の支払により未払法人税等が570百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は13,893百万円となり、前連結会計年度末に比べ、647百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ130百万円減少し、11,468百万円となりました。当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。なお、2026年3月期第1四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期の数値については記載しておりません。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、57百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が910百万円、ユーザー還元引当金が121百万円増加した一方で、前払費用が132百万円増加、法人税等の支払が848百万円あったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、230百万円の支出となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出230百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、38百万円の収入となりました。これは主に、ストックオプションの行使による収入39百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年5月1日付で公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,105	9,968
売掛金及び契約資産	2,544	2,580
有価証券	2,493	1,500
前払費用	183	320
その他	55	46
貸倒引当金	△12	△12
流動資産合計	14,371	14,403
固定資産		
有形固定資産	218	221
無形固定資産		
のれん	620	585
その他	32	30
無形固定資産合計	653	615
投資その他の資産		
投資有価証券	286	520
繰延税金資産	1,219	1,218
敷金	158	154
その他	11	7
投資その他の資産合計	1,676	1,901
固定資産合計	2,548	2,738
資産合計	16,919	17,142

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
未払金	1,103	1,192
未払費用	41	48
未払法人税等	899	329
契約負債	10	17
賞与引当金	117	61
ユーザー還元引当金	1,259	1,381
その他	240	217
流動負債合計	3,673	3,249
負債合計	3,673	3,249
純資産の部		
株主資本		
資本金	190	210
資本剰余金	3,797	3,817
利益剰余金	9,244	9,849
株主資本合計	13,233	13,877
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5	9
その他の包括利益累計額合計	5	9
新株予約権	6	5
純資産合計	13,246	13,893
負債純資産合計	16,919	17,142

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

	(単位：百万円)
	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	4,767
売上原価	2,457
売上総利益	2,310
販売費及び一般管理費	1,405
営業利益	905
営業外収益	
受取利息	6
為替差益	3
その他	1
営業外収益合計	11
営業外費用	
支払利息	0
投資事業組合運用損	2
雑損失	3
営業外費用合計	5
経常利益	910
税金等調整前四半期純利益	910
法人税、住民税及び事業税	307
法人税等調整額	△1
法人税等合計	306
四半期純利益	604
親会社株主に帰属する四半期純利益	604

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)	
四半期純利益	604
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	3
その他の包括利益合計	3
四半期包括利益	608
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	608

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：百万円)
	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	910
減価償却費	11
のれん償却額	35
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△55
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0
ユーザー還元引当金の増減額 (△は減少)	121
受取利息	△6
支払利息	0
為替差損益 (△は益)	△3
投資事業組合運用損益 (△は益)	2
売上債権の増減額 (△は増加)	△27
契約資産の増減額 (△は増加)	△9
前払費用の増減額 (△は増加)	△132
未払金の増減額 (△は減少)	88
契約負債の増減額 (△は減少)	7
未払費用の増減額 (△は減少)	6
未払法人税等 (外形標準課税) の増減額 (△は減少)	△29
その他	△21
小計	899
利息の受取額	6
利息の支払額	△0
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△848
営業活動によるキャッシュ・フロー	57
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△0
投資有価証券の取得による支出	△230
投資活動によるキャッシュ・フロー	△230
財務活動によるキャッシュ・フロー	
リース債務の返済による支出	△0
ストックオプションの行使による収入	39
財務活動によるキャッシュ・フロー	38
現金及び現金同等物に係る換算差額	3
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△130
現金及び現金同等物の期首残高	11,599
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 11,468

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

四半期連結財務諸表は、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び期中連結財務諸表に係る我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成しております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
現金及び預金	9,968百万円
有価証券勘定に含まれるコマーシャル・ペーパー	1,500 "
現金及び現金同等物	11,468百万円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。